



清水ヒデキ

豪援隊隊長・

弁護士・移民コンサルタント
(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。

豪援隊かわら版

<今月のジョーク 1>

ヨーロッパにビジネスで出かける予定の男が、ニューヨーク中心街の銀行にロールスロイスで乗り付け、5千ドルをすぐ貸してほしいと願い出た。銀行員は、何かを預けていただけるのならいいですよ、といった。すると男は「このロールスロイスのキーではどうかね」と答えた。銀行員はすぐさまそのキーを受け取り、車を地下駐車場に駐車したのち、男に5千ドルを手渡した。

2週間後、男は、借りた金を返して車を受け取るために銀行にやってきた。「元金5千ドルと15.4ドルの利息をお払いいただきます」と銀行員がいった。男はすぐさま小切手を切り、立ち去ろうとした。

「あおう」と銀行員が男にいった。「あなたがお留守の間、調べさせていただきましたが、あなたは大変な億万長者なんですね。いったいなんでまた5千ドルの借金なんかされたのですか」「このニューヨークの真ん中で、2週間たった15.4ドルでロールスロイスを駐車してくれるところなんてあるかね」
(ジョーク集より)

<今月の視点 その1 >日本の「おもてなし」

皆様、明けましておめでとうございます。
年末年始はどのようにお過ごしになりましたか。
今年もどうぞ宜しくお願いします。

日本滞在中に、いろいろな方とお話をする機会がありました。真面目な話から、いろいろな冗談まで、そんな中たくさんの方から何度も聞いた言葉が、「おもてなし」でした。こちらではあまり報じられてはいませんが、滝川クリステル女史の東京オリンピックを決めた一言などもてはやされていました。そこで、今回は当方が日本滞在中に発見した日本ならではの「おもてなし」についてです。

(注:筆者、長いオーストラリア生活ですっかり、日本では浦島太郎化しておりますので、ご了承ください。)

1. トイレ

新年から汚い話ですいません。日本に到着しての、まず最初の「おもてなし」はトイレで受けることとなりました。トイレといっても男性用便器ですが、あれはあれで男性の方であればよくご存知でしょうが、使用するのになかなかのスキルが必要です。放尿をする際に便器内にある程度のターゲットを定め、そこに向けて用を足すわけですが、少しでも放尿先の場所が悪いと、思わぬお釣りをしすぎとでもらってしまったりします。そんな中、空港のトイレで発見です。なんと射的のようなのが便器内に付けられているではないですか。そこを的にしますと、お釣りもなくきれいに用を足せるわけです。こんなところまでの気配りは日本以外の国ではまず見られません。何かと日本のトイレに関しては外国の方は絶賛することが多いですが、これはすばらしいですね。

2. ラッピング

日本で物を買いますと、お店で丁寧に包装を(ラッピング)してくれるのが当たり前のようになっています。特にプレゼントということになりますと、店員さんが見事なラッピングをしてくれることがあり、開けるのがもったいないくらいのときもあります。昨今、そうした過剰包装を環境に配慮して見直す傾向にあるようですが、それでも日本のラッピングは正に相手に対する「おもてなし」だと思いました。オーストラリアでは、ラッピングはしてくれません。ラッピングは各自がするものらしく、クリスマス前などは特に色とりどりのラッピングペーパーがお店に並べられています。

(右上に続く→)

筆者もオーストラリアに来て間もない頃に、お店の人が当然の如くプレゼントをラッピングしてくれるものと思い、買った品物は「プレゼント」ですと店員に告げました。次の一言は今でも、忘れません「That's nice. Next please.」(それは良かったわね。次のお客さんどうぞ。)

3. すそ上げ

日本滞在中に某衣服販売店を訪れジーンズを買いました。日本から遠ざかっていた筆者、お店で買ったその場ですそ直しを無料でやってくれることに大変感激。その感激たるや、砂漠で発見したオアシス、この世知がない世の中ですと見付けた人情、頭の中で勝手に感動をしておりました。丁度筆者が訪れたのは年末セールの丁度忙しい最中で店員さんから「現在込み合っており、すそ直しに多少お時間をいただくこととなります」と言われてしまいました。特に急いでもいなかったので、「大丈夫です。ちなみにいつ頃できあがりますか?」と訊きました。次の日にでもなるのかと思いきや、「30分後です。」という返答でした。30分はオーストラリアではぜんぜん遅くないです。以前、オーストラリアの自宅にトイレの修理を呼びましたが、「もうすぐ行く」という連絡があった次の日に修理屋さん came。言い訳は、「前の仕事が長引いちゃって」。オイオイ、それなら「もうすぐ行く」なんて、連絡するなよという感じですが。。。オーストラリアでそれが日常茶飯事なので、今はあまり驚きもありません。ちなみにオーストラリアですそ上げを頼みますと、下手すると2、3日かかかります。しかも、値段も20ドルくらいします。決してジーンズを買ったお店で無料ではやってくれません。たかがすそ上げ、されどすそ上げ。そのことだけでも、次からはあそこのお店で服を買おうという気になります。これも日本の「おもてなし」ですね。

4. アマゾン

聞いてはいましたけど、すごいですね。お客様とのお食事後、夜中の11時。必要なものがあるのに気づき、初アマゾンしちゃいました。夜中の11時にオンライン発注、次の日のお昼には品物が届きました。この感動を知人に話しをしていると、だから最近はお店には皆品物を見て確認をしに行くだけで、買うのは通販を利用する人が多いとか。確かに納得。お店から物を運んだりする手間を考えれば、通販に職場や自宅まで配送された方が便利です。ちなみに、以前オーストラリアで利用したオンラインショッピングは1.2週間注文から配達まで掛かりました。そのため、すぐに欲しいものがあれば、お店に買いに行くしかないというのがオーストラリアの現状です。

<今月の視点 その2 >

トヨタ撤退から見るオーストラリア

日本滞在中、色々な方からオーストラリアからトヨタが撤退する件についての意見を求められました。当方の答えは「仕方なし。」です。

この件、一言で言ってしまうとオーストラリア経済のアキレス腱を露呈した事件の一つという事になります。オーストラリアのアキレス腱とは、すなわち労使関係のアンバランスさです。オーストラリア政府はとにもかくにも労働者保護政策を長きに渡りとってきました。そのため、労働者の権利は聖域のごとく保護され、労務監査所も常に雇用主に対する厳しい監査を行っています。

言うまでもなくオーストラリアは、基本的には労働者の国です。その為、雇用主、起業家に対する恩恵や優遇措置がありません。起業家・事業家は、どの国でも常に自らのリスクでビジネスをする事になりますが、オーストラリアではこのビジネスリスクが対外的のみならず、社内においても大きく存在する事になります。そう、その大きな社内リスクこそ「労働者リスク」です。

労働者リスクで明らかなのは、人件費が高い事。これは事業自体の採算性に通じます。これが原因でトヨタだけでなく、過去に様々な外資会社がオーストラリアから撤退しました。オーストラリアの(一応)自国自動車ブランドであるホールデン(しかし実際はGM)も政府からの補助金無しでは採算がつかない状況にて運営を続けていました。昨年の選挙の争点においても労働党政府と連立政府のどちらの方が補助金を出してくれるかという、とんでもない争点が争われていました。すでに、民間企業が政府の補助金に頼らないとやっていけないということが問題です。

(注:ここからは、当方の個人的な考えですのでご了承ください。)

そして、それ以上にこの社内リスクの原因は、オーストラリア人の「マイトシップ(Matship)」に代表される平等意識から生まれています。元タイギリスの流刑地として国の歴史を始めたオーストラリアでは、罪人も役人も一緒になって新しい国を作ろうということで、元々の国作りをしてきました。

とかく、南半球の離れた大陸では必ずしもイギリス王室や政府の威光が思うほど届かなかったようです。その結果、必然的に平等意識が生まれ、あまり上下関係を作らないことが美徳な文化が生まれていき、そうした意識が今にも引き継がれているというのが筆者の勝手な解釈です。そして、公用語が英語であったこともますます平等意識をはぐむことにつながりました。筆者は言語学者でも何でもありませんが、英語を使う文化ではあまり上下関係等が生まれにくくなります。年齢や身分で日本のように言葉を変えることはありません。

そのため、オーストラリア人労働者は「働かせてもらっている」というよりも「働いてやっている」という意識の方が強いのかもかもしれません。そのために、会社の都合ではなくあくまでも自分の都合で休みも決めれば、昇給も願い出ます。もっと悪くいってしまうと、たとえどんなに仕事が忙しくても、その前日の飲み会で二日酔いになり起きるのが辛ければ平気で sick leave(病欠)を使います。Sick leaveは消化しなければならぬ労働者の権利と考える労働者が残念ながら多いのが事実です。そして、それに対するお咎めも雇用主側から非常にしにくいというのがオーストラリアの現状です。

(右上に続く→)

こうした国民気質に端を発する労働者意識はそのまあ生産性モラルの低さにつながり、国際的競争力の低下とつながります。そのことが、海外の企業のオーストラリアからの撤退につながっていきます。そして、生産能力が低い労働者に高い給料を支払おうとすれば、どこかでひずみが生じます。このことは、オーストラリアの国民も何となく理解しているのですが、この国ではそれ以上に人生を楽しむことを願うお国柄です。しかし、それができるのもオーストラリアの生活環境が恵まれていることに理由があるといえます。どんな仕事をして、どんな立場にしようが青い空と白いくも、そしてどこまでも続く白い砂浜とビーチがオーストラリア人の心を豊かにします。そんな環境に恵まれていると、仕事で一生懸命になるよりも、最低限の生活ができる程度でという気持ちになるのかもしれない。それだけ、オーストラリアは生活環境に恵まれているという、その裏返しなのかもしれません。

オーストラリアにおける労働者の権利は、一種の聖域化している現状です。それに対して残念ながら「笛ふけども踊らず。」正に政府としても様々な政策が効果的ではない根本的な理由が改善されなければ、将来的な安定は難しいかもしれません。

<今月のランキング>

日本語で言ってくれば意味がわかるのに…と思うカタカナ語ランキング

- 1 位 アジェンダ
- 2 位 オーソライズ
- 3 位 オルタナティブ
- 4 位 エビデンス
- 5 位 バジエツト
- 6 位 パラダイム
- 7 位 マイルストーン
- 8 位 スキーム
- 9 位 バッファ
- 10 位 コンテキスト

このような一般的には通じないカタカナ語の中でも、相手に使われて特に困るものとして挙げられているのが、《アジェンダ》です。《アジェンダ》は計画や予定表などを意味する言葉ですが、ビジネスシーンでは検討・協議すべき課題や行動計画などを表現する際にこの言葉がしばしば用いられます。

同様に用いられるビジネス系のカタカナ語としては予算を意味する《バジエツト》、プロジェクトにおける各作業工程の節目を意味する《マイルストーン》などがありますが、あえて日本語から置き換える必要を感じないものがほとんど。日本語だと伝わりにくいというものでもないだけに、なぜ使う人が多いのか不思議ですよ。(インターネット記事より)

<年末の注目記事>

サンタクローズのビザ取得、クリスマスに間に合う

<http://www.newsroom.immi.gov.au/releases/santa-s-great-aussie-investment>

移民局の公式報道によるとサンタクローズがクリスマス前に上級投資家ビザの取得したとのこと。サンタは500万ドルの投資を地元の玩具製造会社に行い、地元の雇用促進にも貢献できるとの判断。これまでの実績も十分のため、移民局としてサンタのビザを認めたということ。

(移民局公式ホームページより)

<今月の注目記事>

McCrindle Research finds Psychology is Australia's most overrated degree, Surveying is our most underrated

(McCrindle リサーチによると、心理学がオーストラリアでもっとも就職につながらない学位であることが判明)

2014 年 1 月 14 日付 Courier Mail より

http://www.couriermail.com.au/business/work/mccrindle-research-finds-psychology-is-australias-most-overrated-degree-surveying-is-our-most-underrated/story-fnkjdf7-1226806196275?from=public_rss

子供さんを持つ親御さんにとっては、子供の将来は常に心配事の一つです。どの学校に通い、そしてどのような科目を専攻するかは子供さんの将来を決める上で重要なことです。大学での専攻に関して、面白い記事がありましたので、ご紹介します。

McCrindle リサーチによる調査によると、一番就職に有利な専攻科目は「測量」で、就職にあまりつながらない専攻の一つは「心理学」ということです。下記がそのランキングと初任給のリストです。

就職にあまり役立たない学位

1. 心理学
就職率: 63%
初任給平均: \$47,500
2. 建築
就職率: 72%
初任給平均: \$32,500
3. ビジュアル・パフォーマンスアート
就職率: 52%
初任給平均: \$38,000
4. 社会学
就職率: 60%
初任給平均: \$45,000

MOST UNDERRATED DEGREES

1. 測量
就職率: 90%
初任給平均: \$52,000
2. 都市区画計画
就職率: 81%
初任給平均: \$50,000
3. リハビリ
就職率: 89%
初任給平均: \$50,200
4. 電子工学
就職率: 76%
初任給平均: \$60,000

*MCCRINDLE RESEARCH

<今月の雑学 >

日本で最初に給食がはじまったのは、山形県。

<今月のあやしい雑学 >

ゴリラの握力は500キロ

映画『プリティーウーマン』の、ジャケットのジュリア・ロバーツ。首から下は別の女性。ちなみにその女性は日本人。

オーストラリアのカモノハシ、哺乳類なのに卵を生むのは有名だが、爪に蛇と同じ毒が有る。

<今月のジョーク その2 > 休暇

赤ちゃんの世話で疲れた妻が言った。

妻: 「あなた、1日くらい会社休んでヨ! あなたが休んでも会社は困らないでしょう?」

夫: 「会社は全然大丈夫だけど、1日でも休むと、俺がずーっと居なくても良いってことが会社にバレちゃうじゃないか!」 (ジョーク集より)

<今月のジョーク その3 >

背の高い金髪の美人が、バーでマネジャーを呼んで欲しいと言った。

そう言われたバーテンはこの女性の美しさに目を奪われ、自分で問題を解決することにした。

「何か、お困りでしょうか?」

「あなたではなく、マネジャーに直接、お話ししたいのです。」

と彼女はカウンターから乗り出して、彼に猫なで声で告げた。

彼女の胸元から、豊満なバストがくっきりと見える。

女好きなバーテンは言った。

「今、マネジャーは、あいにく取組中で手が離せません。私が代わりに喜んでお話を伺います。」

そこで彼女は、バーテンの髪を優しくなでた後、その指先で彼の唇にそっと触れた。

これでバーテンはさらに興奮してしまい、息を詰まらせてうめいた。

「何でもしますよ!」

そこで彼女は、彼にもっと寄り添って、バーテンに自分の指をなめさせた。

そこで彼の耳元で、そっとささやいた。

「マネジャーに、トイレット・ペーパーがないと伝えていただける?」

(ジョーク集より)

<今月のジョーク その4 >

Wife1.0 へのバージョンアップ

拝啓 システム担当者様

わたしは去年、Girlfriend 1.0 から Wife 1.0 にバージョンアップしました。ところが、このソフトは、たくさんのメモリを使い、それまであった貴重なデータも消去してしまいました。メーカーのパンフレットには、このような現象のことは書かれていませんでした。

さらに、Wife 1.0 はあらゆるアプリケーションの上位にインストールされ、Pokernight 10.3(ポーカー遊び)とか Beerbash 2.5(ビール騒ぎ)などのソフトが動かなくなってしまったのです。どこを選択してもシステムがクラッシュするのです。今のところ、Wife 1.0 をシステムから消去することができないようです。Girlfriend 1.0 に戻したいと思っているのですが、アンインストールもできません。なにか、アドバイスをお願いしませんか。

拝復 ユーザー様

多くの男性ユーザーが、Wife 1.0 はユーティリティーと楽しみを兼ねたパッケージソフトだと思いいになり、Girlfriend 1.0 からバージョンアップされているようです。しかし、これは明らかに間違いです。Wife 1.0 は、どんなものにも対応できるように設計されたオペレーティング・システムなのです。したがって、お客様が一度インストールしてしまいますと、アンインストールも、消去も、ゴミ箱に捨てることもできません。お客様は、Wife 1.0 を Girlfriend 1.0 に戻すことはできません。Girlfriend 2.0 もしくは Wife 2.0 をインストールしようとしたお客様もありますが、インストール前の状態よりも問題が多く発生しました。もし、Wife 1.0 が他のソフトをクラッシュさせた場合は、「ごめんなさい」ボタンをクリックしたのち、リセットボタンを押してください。Wife 1.0 は、上手に使用すれば大変有用なソフトですが、メンテナンスには細心の注意が必要です。私どもは、このような強烈なソフトをインストールする前にはマニュアルを注意深くお読みくださるよう、今後はおすすめる所存です。

敬具
システム担当者

(ジョーク集より)

<今月の名言 >

この宇宙には 様々な形があり、様々な色があり、様々な性質を持った物が溢れている。

だが、その全ては、ある一点に集約される。それは驚くべき一点だ。

驚いたことに全ては必然なのだ。

全ては自然の法則が働いた結果、必然として生まれた。一切、無駄はない。

まさに奇跡だ。

レオナルド・ダ・ヴィンチ

船に乗っても、
もう波が出やしないか、
嵐になりやしないかしらん、
それとも、この船が沈没しやしないかしらんと、
船のことばかり考えていたら、
船旅の愉快さは何もなかりうじやないか。

人生もまたしかりだよ。

中村 天風

人は「私はこういう人間だ」と自分で考える
その通りのものになります。

それと異なったものになることはありません。

釈迦(ブッダ)

「…したい」

「…になりたい」って、

悩んでいても仕方ないよね。

ホントになりたい人は、

そう思う前にもうやってるよ。

どンドン行動しているよ。

小泉吉宏 (漫画家、絵本作家)

Go Australia Visa Consultant

Go オーストラリアビザコンサルタント ブリスベン事務所を新規開設いたしました。(ご面会のご予約制となります。)

このかわら版、またはビザに関する質問、お問い合わせは、こちらまでお気軽に！

ゴールドコースト事務所 住所: Suite no.222 Level 2 Watermark Hotel
3032 Surfers Paradise Boulevard Surfers Paradise QLD 4217
郵送先住所 PO Box 481 Isle of Capri QLD 4217
電話: +61-7-5570-4542, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)

ブリスベン事務所 住所: Level 4, 99 Creek Street, Brisbane QLD 4000
郵送先住所 P.O. Box 12257, George St, Brisbane QLD 4003
電話: +61-7-3040-2116, Fax: +61-7-3319-6131

E mail : info@goaustralia-visa.com

Website : www.goaustralia-visa.com